

光設計研究グループ第75回研究会「インフラモニタリングのための光技術」

近年、インフラの老朽化による事故リスク、気候変動による災害リスクの上昇が懸念されています。光技術はこのようリスクを抑制するためのモニタリング分野に大きな貢献が見込まれ、盛んに研究開発が行われています。本研究会では、光技術を応用したモニタリング技術について、さまざまな分野の方々にご講演いただく予定です。また、今回はIOF(板橋オプトフォーラム)の一環として開催いたしますので、会場では基調講演や企業展示の機会もございます。ぜひそちらも併せてご活用ください。

期 日：2023年10月5日(木)

場 所：板橋区立グリーンホール 601 会議室(ハイブリッド開催。オンラインはZoom 利用)

主 催：日本光学会光設計研究グループ

協 賛：応用物理学会、日本オプトメカトロニクス協会

参加費：光設計研究グループ個人会員4,000円、光設計研究グループ学生会員無料、日本光学会および協賛団体個人会員8,000円、光設計研究グループ賛助会員企業8,000円、一般10,000円、日本光学会および協賛団体会員1,000円、学生一般2,000円

参加申込：後述のURLからお申込みください。

問合せ先：森本智英(三菱電機)

E-mail k75@opticsdesign.gr.jp

URL <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

第168回微小光学研究会「生体と光—観る、操る—」

生命体は細胞から生体まで、エネルギー入出力と情報入出力を行うシステムを備えており、観測イメージングや操作などの生体への非侵襲なアプローチに光技術が関わっている。本研究会では進展が著しい光の生体応用の新技術を取りあげ、生理学や医学への展開を探る。

期 日：2023年10月17日(火)

場 所：東京工業大学西9号館デジタル多目的ホール(東京都目黒区大岡山2丁目12-1, ハイブリッド開催)

主 催：応用物理学会微小光学研究会

協 賛：日本光学会、オプトロニクス社

参加費：一般5,000円、応用物理学会員4,000円、学生・シニア2,000円、学生・シニア応用物理学会員1,000円

参加申込：下記URLからお申込みください。

<http://www.comemoc.com/meeting/mo168.htm>

申込期限：2023年10月10日(火)

問合せ先：森 伸芳(山下電装)

電話 080-4064-7142

E-mail mori@yamashitadenso.co.jp

URL <http://www.comemoc.com/>

JOEM「収差論/偏心光学系の3次の収差論」技術講座

日 時：2023年10月11日(水)~12月20日(水) 隔週水曜日開催・計6日間(新型コロナウイルス感染症の状況によっては延期、もしくは中止もあり)

講 師：荒木敬介(宇都宮大学)

場 所：ハイブリッド形式(対面(機械振興会館別館4階)+オンライン(Microsoft Teams 利用))

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会ほか

参加費：協賛187,000円(テキスト・消費税含む)

定 員：25名(うち対面は先着順で10名)

申込期限：2023年10月2日(月)

※偏心光学系の3次の収差論は12月11日(月)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 *news* の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 *news* 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第51巻第7号(2023年7月号)目次

「レーザー推進の最近の動向」特集号

レーザーコンパス

レーザーの研究は難しい。レーザーを作ることは楽しい。
…………… 東口武史 (421)

《特集》

レーザー解説

従来型ロケットの開発動向とレーザー推進への期待
…………… 小紫公也 (422)

ビーム推進機の数値シミュレーション
…………… 大西直文, 高橋聖幸 (424)

レーザーローンチシステム (Laser Launch System: LLS) の研究
…………… 森 浩一 (430)

レーザーで燃焼を On/Off 制御する小型固体ロケット推進機
…………… 各務 聡 (434)

衝撃波によるレーザー推進のエネルギー変換メカニズム
…………… 嶋村耕平 (440)

レーザー誘起バブルによって水を吸い込む新しいレーザー推進の
数値計算…………… 大久保友雅, 千田太陽,
松永栄一, 佐藤雄二 (445)

レーザー核融合ロケットに向けた実験・シミュレーション研究の
進展と展望…………… 森田太智, 古場健斗,
伊勢俊之, 山本直嗣 (450)

創立50周年特別

レーザーフラッシュ

50周年記念号に寄せて—D部門: レーザープロセッシング—
…………… 大越昌幸 (456)

レーザーフラッシュ

Report on 12th Optics & Photonics International Congress (OPIC 2023)
—Reviving Face-to-Face Conference Overcoming the Difficulties of
COVID-19—
…………… Shuji SAKABE, Fumihiko KANNARI, Yoshiaki KATO (462)

Report on the 5th Optical Wireless and Fiber Power Transmission Conference
(OWPT2023) …… Tomoyuki MIYAMOTO, Motoharu MATSUURA,
Takeo MARUYAMA, Kayo OGAWA, Kensuke IKEDA (466)

レーザーEXPO2023 報告—光・レーザーの一大イベント—
…………… 山本和久 (469)

レーザー学会産業賞 2023 …… 時田茂樹 (472)

レーザー学会産業賞を受賞して —紫外線除菌技術 Care222®—
…………… 平尾哲治 (474)

TACMI コンソーシアム —NDAのある学会— …… 小林 洋平 (477)

著者紹介 (480)

セルフフォーカス (482)

レーザーカレンダー (429, 439, 444, 455)

「応用物理」第92巻第9号(2023年9月号)予定目次

解説

ねじれて積層した2次元半導体のモアレ構造における新規な
励起子光物性…………… 篠北啓介, 松田一成
ナノ加工技術がかなえるグローバルニッチトップのモノづくり
…………… 金岡政彦

研究紹介

層状結晶をテンプレートとしたシリサイド系ナノシート束の作製
…………… 立岡浩一, 志村洋介
高性能多接合太陽電池の低コスト製造技術
…………… 庄司 靖, 牧田紀久夫, 大島隆治, 菅谷武芳
ナノ領域特有の性質を考慮した核生成の理解と宇宙での物質進化の
解明…………… 木村勇氣

量子ドットを内包するヘテロ界面を利用した2段階フォトン
アップコンバージョン太陽電池
…………… 朝日重雄, 原田幸弘, 喜多 隆

基礎講座

強磁場下の物性研究における α の研究技術…………… 小濱芳允

応物系スタートアップ

半導体からの光電子ビームで革新を——用途広がるナノの世界に
照準…………… 西谷智博

Inside Out

企業研究者のトロント大学派遣体験記…………… 土手 暁

Science As Art

チャンバの中の星空…………… 新居拓真, 金田真悟

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2023年7月10日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	株式会社タムロン
アンシス・ジャパン株式会社	チームオプト株式会社
ウシオ電機株式会社	中央精機株式会社
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	天進技術株式会社
株式会社エクモス	株式会社東芝
株式会社エビデント	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エンプラス研究所	株式会社トプコン
オーウエル株式会社	株式会社ナック イメージテクノロジー
オプトシリウス株式会社	株式会社ニコン
株式会社オプトロニクス社	株式会社ニデック
オリンパス株式会社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
キャノン株式会社	日本シノプシス合同会社
京セラ SOC 株式会社	日本真空光学株式会社
株式会社清原光学	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社光学技研	浜松ホトニクス株式会社
興和株式会社	株式会社日立製作所
株式会社五藤光学研究所	華為技術日本株式会社
コニカミノルタ株式会社	Phase One Japan 株式会社
株式会社三恵舎	富士フイルム株式会社
株式会社シグマ	古野電気株式会社
株式会社スカイテクノロジー	三菱ケミカル株式会社
ソーラボジャパン株式会社	株式会社リコー

以上 会員数 44 社, 60 口 (五十音順)
